

子どもたちの夢を応援しています



こどもまんなか「夢ポスト」企画

子どもたちの思いや願いをもとに この取組を支援しています



六年生の新たな門出を祝う卒業イベント



第1弾 2月21日(金) 卒業式場を自分たちの夢で飾ろう！

協力：八幡中央高等学校

高校生の書道部の皆さんが、6年生に書道を教えてくれます。学んだ技術を生かし、全員で一つの作品を仕上げ、卒業式の会場に飾ります。心を込めた書道作品が、卒業式の雰囲気をもっと感動的なものにしてくれるでしょう。

第2弾 3月10日(月) 花火「希望のあかり」を打ち上げよう！

協力：前田地区教育向上委員会・CSA・SSA

地域の皆様のご厚意により、小・中・高生の卒業を祝う花火を打ち上げていただきます。夜空に咲く花火が、子どもたちの新たな門出を彩ります。



投げ込み案件

第3弾 3月13日(木) 空き缶タイムカプセル、未来の自分へ手紙を届けよう！

協力：NPO法人「空き缶基金」

一人一つ、空き缶を使ってタイムカプセルを作ります。思い出の品や未来への手紙を入れ、二十歳になった時に開封する計画です。未来の自分に向けたメッセージが、成長の証となることでしょう。



第4弾 3月13日(木) 「夏みかんの木」植樹、卒業後も母校と繋がろう！

協力：NPO法人「空き缶基金」

卒業後も母校との繋がりを大切にしてほしいという願いを込めて、夏みかんの木を植樹します。成長する木を見守ることで、いつでも母校を訪れ、思い出を振り返る機会となることを願っています。卒業後も母校とつながるシンボルとして植樹します！



■実施の経緯

花尾小学校では、子どもたちの夢や願いを大切にする「こどもまんなか夢ポスト」を設置し、子どもたちの声を取り入れた教育活動を実践しています。

その中で、6年生から「卒業の思い出にタイムカプセルを作りたい」という提案がありました。リサイクルされた空き缶素材を使ってタイムカプセル缶を作る活動をしているNPO法人『空き缶基金』様の協力を得て、子どもの夢が実現されることになりました。

また、「卒業後も母校とつながれる場所がほしい」という子どもたちの思いを受け、環境学習の一環として、空き缶基金様より寄贈された夏みかんの木を植樹します。この木が卒業生の成長の象徴となり、母校を訪れるきっかけになることを願っています。

本取組を通じて、子どもたちが未来を見据え、母校への愛着や「シビックプライド（地域への誇り）」を醸成します。



市内3小学校「タイムカプセル缶」製作学習への助成情報

キャッチコピー

空き缶タイムカプセル 未来の自分に手紙を届けよう！



1. 助成対象児童	鞆ヶ谷小6年生	30名	}	対象者計 183名
	小倉中央小6年生	55名		
	花尾小6年生	98名		

2. 完成品寄贈の日程と場所

鞆ヶ谷小6年生	令和7年3月11日(火)	11:00~	体育館又は教室
小倉中央小6年生	// 3月12日(水)	11:00~	//
花尾小6年生	// 3月13日(木)	11:50~	//

投げ込み案件

3. 寄贈法人 NPO 法人『空き缶基金』 <https://k-ars.co.jp/npo/> ←HP 参照
4. ご協力機関 大和製罐株式会社 様 <https://www.daiwa-can.co.jp/> ←HP 参照
5. 今回のタイムカプセル缶の特徴

- ①子どもたちが独自にデザインした世界に一つのシートを缶胴体に自分で貼り付け(別紙①参照)
- ②教室にて缶内に以下のシートや品物を装入後、製罐工場にて完全密封化
 - ・描こう! 「夢へのかけ橋」、育てよう! 「成長への挑戦」カードとその裏面に20歳になった時に思いを馳せ、自分の夢・思い・願い等を自由に記録する。
(ex.自分への手紙、家族・友人等への手紙) 別紙②参照
 - ・自分だけの大事な宝物などなど

6. 本イベントの企画創案に至った経緯

- (1)花尾小の6年生の児童たちが卒業の時に記念としてタイムカプセルを作れないか?を提案していた。
- (2)『空き缶基金』は、小学校における環境学習と情操教育のお手伝い(小学校での募缶で得た収益金を活用して小学校や地域団体へ「花の苗」を寄贈するベース活動)に加え、更に活動を活発化すべく新たな企画を検討中だった。
- (3)今回の企画のコンセプトの特徴
 - ① 環境学習の一環として進めている「空き缶」を集める活動と子どもたちの「タイムカプセル製作」要望が一致し、双方が力を合わせて実現できる方法が考案された。
 - ② 卒業後も子どもたちが未来への夢の缶を身近に置いて成長していった欲しい願いが実現できた。
 - ③ 今までの一般的タイムカプセル活動の課題とその解決方法
 - ※20歳になって本人の手元に戻す機会が作りにくく、小学校での処分が困難
 - 対策→世界に一つのタイムカプセルを20歳になって渡すのではなく卒業時に渡し、各自宅で保管。
20歳の成人式に持ち寄るか? 又は各自の判断で缶を開封する。
 - ※学校での個人情報管理体制の課題に加え保管方法及び開封イベントの推進役が不明確となり、時代の流と共に所期の目的を果たすことが極めて困難となっていた。
 - 対策→個人ごとに製作したタイムカプセル缶(スチール缶)を使って、卒業時期に完全密封化する。

(4)今回の対象小学校の選定理由

- ①北九州市教育委員会と相談の上、今年度は「SDGS 推進小学校」の中から、試験的に3校で実施

7. 連絡先 『空き缶基金』 理事長 櫻木準一 電話 090-6891-3978

e-mail sakuragi-junichi316720@dor.bbq.jp

以上

【参照情報： 空き缶タイムカプセルの仕様】

① 缶の胴体に貼る小学校独自のシールデザイン



➡ 小倉中央小学校のカプセル缶に貼るシールデザイン (2/20作業)

➡ 花尾小学校のカプセル缶に貼る個人毎に自由に描くことにしたシールデザイン (2/12作業)

➡ 鞆ヶ谷小学校のカプセル缶に貼るシールデザイン(2/17作業)



最終工程の底板をカシメル閉栓工程(大和製罐工場にて)の前状態

② 夢を馳せるカード



<表側>



<裏側>

③ タイムカプセル封印作業の説明と作業中の子どもたち(2/12 花尾小学校にて)

